

大阪狭山市 社協だより

第 73 号

発行所

社会福祉法人
大阪狭山市社会福祉協議会
〒589-0021
大阪狭山市今熊1丁目85番地
TEL (072)367-1761
FAX (072)366-7407
E-mail
sayama@bf.wakwak.com
URL
www.osaka-sayama.or.jp/



大阪狭山市から想いを乗せて ～東日本大震災への取り組み～

3月11日に発生した東日本大震災から半年が経過しました。被災地ではようやく本格的な復興に向けた取り組みが始まりましたが、復興には長い時間がかかります。これまで大阪狭山市社協では、延べ3人の職員派遣と災害ボランティアバスの二度の運行や義援金の受付など、被災地の支援に積極的に取り組んできました。被災地では長期的な支援が予想されています。今後も、大阪狭山市社協では市民の皆さんの想いを被災地へとつなげるため、関係機関と協力しながら被災地の支援に取り組んでいきますので、ご協力下さいますようお願いいたします。

職員派遣

3月16日～22日まで、全国災害支援プロジェクトからの要請を受けて、先遣隊として宮城県へ職員1人を派遣し、大阪府社協の職員と共に今後の支援に向けて現地調査を行いました。

また、5月1日～8日、5月5日～12日に宮城県南三陸町へ職員各1人を派遣し、災害ボランティアセンターの支援を行いました。

災害ボランティアバス

7月15日～17日の3日間と、8月26日～28日の3日間の計2回、南三陸町と岩沼市に災害ボランティアバスを運行し、被災地の支援を行いました。

参加者は、一回目36人、二回目39人で年齢も職業もさまざまでした。

「私たちの力は、微力でも無力ではない」「小さなことかもしれないが、自分ができることを何かしたい」など熱い想いを胸に、ボランティア活動に取り組みました。(ボランティアだよりにも紹介しています)



市民の皆さまから寄せられた、たくさんの善意!!



9月までに総額1,001,520円の義援金が寄せられました。皆さまから寄せられた義援金は、大阪府共同募金会を通じて被災地支援に充てられます。



多くの方から寄せられた、温かく大きな想いに感謝すると共に、今後も継続した支援をよろしくお願いいたします。

「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定書」を
大阪狭山市と締結しました

社会福祉協議会では、災害発生時、大阪狭山市の要請により速やかに災害ボランティアセンターを設置し、全国から集まるボランティアの支援を被災者に繋げるため、8月2日に協定書を交わしました。

協定では、発災後の取り組みだけでなく、普段からの取り組みに重点を置き、次の項目を盛り込み、いざというときに備えます。

- ①住民組織・団体・関係機関で構成する「災害ボランティアネットワーク」の組織化
- ②訓練の実施
- ③活動資機材の整備等

本年度は①の組織化を進めますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



市長と社協会長

瑞宝単光章を
受賞

社協副会長・社協だより編集委員長である吉川啓子さんが、民生委員・児童委員として永年にわたる社会福祉に貢献された功績に対し、4月29日に瑞宝単光章を受賞されました。



赤い羽根共同募金運動が始まります

赤い羽根共同募金



期間 10月1日(土)～12月31日(土)

「じびんの町を良くするしくみ」

みなさまからいただきました善意の募金(配分金)は、地域福祉の充實のために活用させていただきます。

- 一般募金配分金
 - ☆老人福祉活動
 - ひとり暮らし老人会食事業への助成
 - 身体障がい者(児)福祉活動
 - 活動費の一部助成
 - ☆児童・青少年福祉活動
 - 福祉協力市内小・中・高等学校への活動助成
 - ☆福祉育成・援助活動
 - ボランティア活動はばたきフェスタ事業、啓発冊子等への一部助成
- 歳末たすけあい募金配分金
 - 市内の福祉施設や福祉団体等が年末・年始に行う地域福祉活動事業について、配分委員会でご審査の上配分されます。

事務局 大阪狭山地区募金会 電話 367・1761

地域ふれあい通信

くみの木地区福祉委員会

6月8日(水)午後1時より、栗木中央公民館で「高齢者の集う場所作り」を目的に健康体操と茶話会を実施しました。

天候は、雨の予報でしたが、ポカポカ陽気に恵まれ、38人の参加者で盛り上がりました。

健康体操では、地域包括支援センターの中尾氏(主任介護支援専門員)・山川氏(看護師)・増田氏(保健師)を講師に招き、頭と身体を使った体操と脳トレーニングを行いました。

みんなで気持ちのいい汗を流した後は、おいしい飲み物とお菓子を食べながら、会話に花を咲かせました。



頭と身体トレーニング

間はあつという間に過ぎ、記念すべき第1回は大成で幕を下ろしました。

参加者からは「定期的にしてほしい」との声もあり、福祉委員会では継続的な開催に向けて今後も取り組んでいきます。

半田地区福祉委員会

8月29日(月)川向公民館で役員17人を対象に、役員会終了後、認知症サポーター養成講座を開催しました。

地域包括支援センターの橋野氏を講師に迎え、認知症のことを正しく知ってみんなで支えようについて講演を聴きました。

講座では、認知症の主な症状やサポーターの必要性、さらに認知症の方と係わる上での大切なポイントについてお話しがありました。

参加者からは「自分が住んでいる地域の住民を対象にお話しをして頂きたい」となご感想が寄せられました。

今後、福祉委員会としては、認知症の勉強会に限らず色々な勉強会を行っていきなにと考えています。

トピックス

「認知症」

地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、地域の方に認知症について知っていただくために「認知症サポーター養成講座」を開催しています。この講座では、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人やその家族を温かく見守り、支援するサポーターを養成します。

今年2月に、その認知症サポーター養成講座の講師役となる専門職の「キャラバン・メイト」の養成研修を開催、大阪狭山市内に新たに53人が誕生し、キャラバン・メイトは68人になりました。

今後、当該支援センターではキャラバン・メイトの方々と協力しながら、各地で「認知症サポーター養成講座」を開催します。

市民のみならず、理解と協力を得ながら、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざしていきます。

講座は、平日・土日祝日・早朝夜間を問わず、無料で地域に出張し開催しますので、サロン活動や勉強会、職場やサークル仲間・団体等のみなさま是非ご活用下さい。

認知症連携担当者 橋野 建史

「あなたがい普通をありがとごさいました」

平成23年5月上旬から平成23年8月下旬までに預託をいただきました方のご芳名は左記のとおりです
(敬称略・預託順)

- 《個人の部》 堀井ゆかり 出原正裕 匿名(一名)
 - 《団体部》 栗木木燭人 竹山陶芸会 (株)トウフ建設
- 大阪狭山市社会福祉協議会職員厚生会

ご寄付はぜひ社協へ

社協では、善意の寄付や香典返しなどの寄付、バザー・イベント等の収益の一部などを地域福祉向上のため、様々な形で地域に還元しております。

- 例えば
- 地域での行事でお使い頂ける、貸し出し用備品の購入(イカ焼き機・ポップコーン機・綿菓子機等保有)
 - 社協で行われる事業への助成

※なお寄付金は、税控除の対象となっています。お礼状につきましては、社会福祉協議会でご用意させていただきます。

☆お問い合わせ ☎ 367-1761



キャラバン・メイトの養成講座

地域包括支援センター

☎ 3689922

はばたきフェスタ

盛大に開催 / 9月10日(土)・11日(日)



子どもたちに大人気

福祉・文化ソンの合同イベント「はばたきフェスタ」を開催し、両日とも晴天に恵まれ多くの人で賑わいました。

オープニングは狭山南中学校の吹奏楽部の皆さんによる演奏からはじまり、太極拳フライングの披露で2日間のスタートを飾って頂きました。

はばたきフェスタは福祉センターを利用して開催されるが、一年間の活動を発表する場でもあり、各会場には手芸品や俳句などの力作が展示されました。

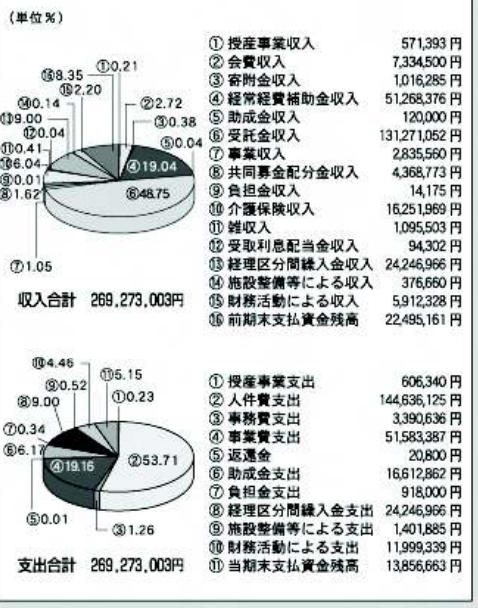
演芸大会では、練習を積み重ねてこられた自慢の「声」を披露されました。

また、例年フェスタを盛り上げるため、障がい者の団体やボランティアグループ等の自主的な参加で模擬店を出店、会場内はおいしそうなおいかけだぶっ大盛況でした。

今年は特に小学生の来場が多く、若い活気もあふれました。

▼問い合わせ: 福祉センター ☎ 3682022

平成22年度決算報告



ブログを始めました

大阪狭山市社協日記 検索

社協では、各種事業をタイムリーにお伝えできるよう、「大阪狭山市社協日記」を始めました。

今後ブログを通して様々な活動を発信していきますので是非ご覧下さい。



たくさんつかめて大満足

救急医療情報キットの情報更新をお願いします

大阪狭山市社会福祉協議会では、昨年10月より地域住民の命を守る取り組みとして、素早く必要な医療情報等が確認できるよう「救急医療情報キット」を配布しております。

事業開始後1年が経過するにあたり、本事業を活用されている皆さまに、保管している医療情報等において変更がありましたら、情報の更新をお願いします。

また「救急医療情報キット」の配布を引き続き行っています。配布対象者等の制限がありますので、申請方法等詳しくはお問い合わせ下さい。

お問い合わせ / 社会福祉協議会まで ☎ 367-1761



編集後記

最近、所用で多く電車を利用する。この間も立っている私を見て、中年の男性が、何も言わずに席を空けてくれた。

またある時は、若い女性に「どうぞ座って下さい」と声をかけて頂き「すみません」と言って座らせてもらった。その方々は、必ず降車時「ありがと

う」お礼を言うことになっている。

これらの暖かい行為に対して、高齢者だから当然と思わず、相手の心遣い感謝しています。地域においても温もりのある心で、みんなと接して行くことが、高齢者が安心して暮らしていける地域づくりに繋がれば、心から熱い思いを抱いている今日この頃です。

(2記)

…さつき荘相談室までどうぞ…

心配ごと相談 毎週 月曜日 午後1時～4時

身体障がい者相談 第1・2・3・4金曜日 午後1時～4時

ひとり親家庭相談 第3土曜日 午前10時～正午

知的障がい者(児)相談 第1・2・3・4水曜日 午後1時～4時

祝日などで相談日が変更になる場合があります

電話での相談・問い合わせは ☎367-1761

子育ておしゃべりライン ☎367-6601 毎月第2・4水曜日 午前10時～午後4時